



2019年10月に猛威をふるった台風19号。茨城大学では発災直後に調査団を立ち上げ、地質、土木、情報伝達、住民ケア、農業といったさまざまな視点からフィールド調査等を行ってまいりました。

発災2年目の年度を終えるに伴い、「最終報告会」として、これまでの調査結果を皆様にご報告します。



茨城大学
Ibaraki University

台風19号災害調査団

最終報告会

2021年

2月5日(金)10時~12時

オンライン会議システム
「Zoom」を使用して開催

参加無料・申込不要でどなたでもご参加いただけます。
当日、右のQRコードからご入場ください。



ミーティングID: 948 1700 6050
パスコード: 683503

- 被災過程解明
- 農業・生態系
- 情報伝達・避難行動
- 住民ケア支援
- 文化財レスキュー
※文化財レスキューグループの報告はありません。
- 台風19号茨城水害における災害支援
に対する自治体の情報発信と報道力の関係
- 茨城県における洪水に対する地域強靱化の提案
- 県内中小企業の被害状況を踏まえた
事業継続計画(BCP)に関する調査研究



お問い合わせ 茨城大学 029-228-8111(代)
typhoon19-ibadai@ml.ibaraki.ac.jp